



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年2月10日

上場会社名 兼松エンジニアリング株式会社  
 コード番号 6402 URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山本 琴一  
 (氏名) 林 久貴

TEL 088-845-5511

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,798	4.4	824	△0.3	818	△3.7	555	△5.2
2021年3月期第3四半期	8,428	△3.2	827	3.8	849	3.8	585	3.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	101.38	—
2021年3月期第3四半期	105.29	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,156	5,517	45.4
2021年3月期	11,081	6,224	56.2

(参考)自己資本 2022年3月期第3四半期 5,517百万円 2021年3月期 6,224百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	63.00	63.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期(予想)				55.00	55.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当31円00銭 創業50周年記念配当20円00銭  
 2022年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当33円00銭 株式上場20周年記念配当10円00銭

## 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	△0.9	1,000	△7.5	1,000	△9.8	690	△3.6	129.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※公開買付により、2021年12月30日付で自己株式を取得いたしました。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	5,564,000 株	2021年3月期	5,564,000 株
2022年3月期3Q	752,545 株	2021年3月期	5,245 株
2022年3月期3Q	5,475,722 株	2021年3月期3Q	5,558,755 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 設備投資に関する説明 .....	P. 2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期損益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 7
(会計方針の変更) .....	P. 7
3. その他 .....	P. 8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中、個人消費は回復傾向にあります。新たな変異ウイルス「オミクロン」の急拡大による国内外経済への影響が懸念されております。

かかる状況下、当社は、2021年9月1日をもって創立50周年を迎えることが出来ました。エンジニアリング会社としてどんな場面においても新しい物を生み出そうとする創立時の熱意と精神を受け継ぎ、これからも、ものづくりを通じてより良い社会の実現に貢献して参ります。また、高知市の高台に新工場「テクノベース」を建設し、2021年8月より業務を開始しております。南海トラフ地震に対する自社製品の供給責任を果たすとともに、生産拠点の集約による生産効率の向上を進めて参ります。

当第3四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることなく、インフラ整備、工場関係、レンタル業及び先行製作車等主力製品の幅広い需要により好調を維持し、新工場「テクノベース」の稼働も軌道に乗り、活発な生産活動のもと過去最高の売上高となりました。一方、費用面では新工場「テクノベース」稼働に伴う償却費用の増加及び自己株式取得費用もあり前年同四半期比増収・減益の結果となりました。

また受注残高につきましても前年同四半期を上回る高水準で推移しております。

業績(数値)につきましては、前第3四半期累計期間に比べ受注高は360百万円増の9,917百万円(前年同四半期比3.8%増)、売上高は370百万円増の8,798百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。損益につきましては、営業利益は2百万円減の824百万円(前年同四半期比0.3%減)、経常利益は31百万円減の818百万円(前年同四半期比3.7%減)、四半期純利益は30百万円減の555百万円(前年同四半期比5.2%減)を計上することとなりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末残高に比べ1,074百万円増加し、12,156百万円となりました。これは主に、売上債権の減少254百万円及び現金及び預金の減少201百万円はありましたが、新工場「テクノベース」取得等に伴う有形固定資産の増加1,212百万円及び未収消費税等の増加299百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末残高に比べ1,782百万円増加し、6,639百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少236百万円、仕入債務の減少215百万円、未払消費税等の減少143百万円及び引当金の減少132百万円はありましたが、借入金の増加2,500百万円によるものであります。

純資産は、前事業年度末残高に比べ707百万円減少し、5,517百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上555百万円はありましたが、自己株式の取得911百万円及び剰余金の配当350百万円によるものであります。

## (3) 設備投資に関する説明

当第3四半期累計期間において、新たに確定した主要な設備の新設等の計画は、次のとおりであります。

なお、新工場「テクノベース」は2021年8月18日より業務を開始しております。

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金 調達方法	着手 年月	完了 年月
		総額 (百万円)	既支払額 (百万円)			
テクノベース (高知県高知市)	生産設備	4,800	4,696	自己資金及び 金融機関借入	2020年 5月	2021年 7月

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 既支払額の内訳は、主として工場等用地の購入と建築・設備代金の内金等であります。  
 3 新工場建設計画の進展・見直しにより、着手年月を当初2019年10月から2020年5月に、完了予定年月を当初2020年11月から2021年7月に変更しております。また、投資予定総額を当初4,000百万円から4,800百万円に変更しております  
 4 完成後の生産能力については、協力会社2社を含む生産拠点の集約化と生産方法の見直し等により、15%増加を見込んでおります。

当第3四半期累計期間において、新たに確定した主要な設備の除売却等の計画は、次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	設備の内容	帳簿価額 (百万円)	売買契約 締結年月	除売却等の 年月
明見工場 (高知県南国市)	生産設備	340	2021年6月 2021年7月	2021年9月
eセンター (高知県南国市)	生産設備	144	2021年6月	2021年10月
技術センター (高知県南国市)	設計・生産管理設備	96	2021年6月	2021年10月
合 計		581		

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 新工場「テクノベース」移転に伴う除売却であり、生産能力の減少はありません。  
 3 明見工場及び技術センターにつきましては、減損損失計上後の帳簿価額を記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想を修正しております。

詳細は本日(2022年2月10日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,422,494	1,220,960
受取手形及び売掛金	2,583,335	2,328,543
商品及び製品	481,549	591,005
仕掛品	1,491,208	1,508,742
原材料及び貯蔵品	240,319	233,237
その他	25,325	335,343
貸倒引当金	△1,291	△1,164
流動資産合計	6,242,942	6,216,668
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	449,594	3,056,031
土地	1,908,569	1,509,649
建設仮勘定	1,832,413	27,254
その他（純額）	148,023	957,786
有形固定資産合計	4,338,601	5,550,722
無形固定資産	97,457	139,415
投資その他の資産		
繰延税金資産	264,124	204,450
その他	138,759	45,548
投資その他の資産合計	402,884	249,999
固定資産合計	4,838,943	5,940,138
資産合計	11,081,886	12,156,806

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,381,982	3,166,607
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	—	149,996
未払法人税等	241,866	5,529
賞与引当金	280,000	203,085
役員賞与引当金	68,200	7,102
製品保証引当金	63,000	54,000
その他	563,883	430,527
流動負債合計	4,598,932	5,016,848
固定負債		
長期借入金	—	1,350,004
退職給付引当金	250,865	264,986
その他	7,600	7,600
固定負債合計	258,465	1,622,590
負債合計	4,857,397	6,639,438
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	5,557,186	5,762,088
自己株式	△1,879	△913,585
株主資本合計	6,225,028	5,518,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△540	△857
評価・換算差額等合計	△540	△857
純資産合計	6,224,488	5,517,368
負債純資産合計	11,081,886	12,156,806

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	8,428,661	8,798,868
売上原価	6,411,229	6,694,458
売上総利益	2,017,431	2,104,409
販売費及び一般管理費	1,189,690	1,279,483
営業利益	827,740	824,926
営業外収益		
受取利息	155	42
受取賃貸料	13,811	14,363
未払配当金除斥益	3,374	3,326
その他	4,780	5,877
営業外収益合計	22,121	23,610
営業外費用		
支払利息	—	2,231
自己株式取得費用	—	27,739
その他	4	206
営業外費用合計	4	30,177
経常利益	849,858	818,359
特別利益		
固定資産売却益	559	22,713
特別利益合計	559	22,713
特別損失		
固定資産売却損	395	—
固定資産除却損	0	620
工場移転関連費用	—	21,702
50周年記念関連費用	—	12,439
特別損失合計	395	34,761
税引前四半期純利益	850,022	806,311
法人税、住民税及び事業税	262,300	191,479
法人税等調整額	2,454	59,727
法人税等合計	264,754	251,207
四半期純利益	585,267	555,103

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

公開買付により、2021年12月30日付で自己株式747,300株を取得いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が911,706千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が913,585千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準等」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期累計期間の売上高、売上原価、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、環境整備機器関連事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、セグメントごとに記載しておりません。

当第3四半期累計期間における生産実績、受注実績及び販売実績を製品の品目ごとに示すと、次のとおりであります。

## ① 生産実績

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	6,011,264	△1.0
高压洗浄車	1,330,762	+17.4
粉粒体吸引・圧送車	220,659	△2.4
部品売上	708,405	+3.1
その他	577,877	△23.3
合計	8,848,968	△0.3

(注) 1 生産高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車の生産等が主なものであります。

## ② 受注実績

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	6,761,587	+7.7	5,442,235	+18.3
高压洗浄車	1,595,884	+10.5	1,171,190	+11.9
粉粒体吸引・圧送車	163,900	△31.3	124,400	△34.1
部品売上	708,405	+3.1	—	—
その他	688,143	△24.6	603,903	△11.2
合計	9,917,919	+3.8	7,341,729	+12.7

(注) 1 受注高及び受注残高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車及び修理改造等の受注が主なものであります。

3 受注残高には、翌事業年度の納入予定金額が含まれております。

## ③ 販売実績

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	6,007,962	+0.3
高压洗浄車	1,352,176	+27.3
粉粒体吸引・圧送車	276,340	+9.0
部品売上	708,405	+3.1
その他	453,983	+4.1
合計	8,798,868	+4.4

(注) 1 販売高には、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車の販売及び修理改造等が主なものであります。